

## 令和 4 年度 市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

【案 件 名】 「いわき市産木材等の利用の促進に関する方針（案）」について

部課等名：農林水産部林務課

No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
1	○ 木材を安定供給するためには林業従事者を増やさないとできない。そのためには林業学校を作り林業従事者を増やすこと。	○ 貴重な御意見ありがとうございます。林業従事者の確保・育成については、「いわき市森林・林業・木材産業振興プラン（第 4 期）」の個別施策「林業従事者の確保・育成」に基づき進めていきます。 また、林業学校については、福島県が実践的な技術を習得し、即戦力となる林業従事者を育成する「林業アカデミーふくしま」を開設しています。
2	○ これまで治水、治山を行ってきた建設業者も林業に携わるようにして、建設業から国土保全業に業態を変える必要がある。	○ 貴重な御意見ありがとうございます。林業の持続的発展及び担い手の確保・育成と新規参入を推進するため、スマート林業を導入した費用の一部、担い手確保・育成に係る費用の一部、林業経営体等が導入する林業機械等の費用の一部を助成する「いわき市豊かな森づくり担い手確保育成支援事業」を令和 5 年度から実施することで、建設業等他業種から林業への参入の推進を図ります。
3	○ 山林から伐採して木材になるまでの経緯を日本で行う場合は、日本の山林は急峻であり、作業道を造成しなければなりません。作業道路が完成すると伐採し収材運搬機械で山林土場に移動し、そこでトラックに積み込み市場へ出荷します。最近は小型のハーベスタが導入されるケースが多くなっています。外材の多くは大型ハーベスタで伐採して直接トラックに運搬するのでコストが低い傾向にあります。この伐採と運搬までの費用が日本では高いのです。	○ 貴重な御意見ありがとうございます。伐採搬出に係る費用を軽減するため、市では「いわき市森林・林業・木材産業振興プラン（第 4 期）」の個別施策「簡易間伐作業道の開設支援」に基づき、各地区の造林組合に補助金を交付しています。 また、林業経営体等が作業の効率化を図るため、スマート林業や高性能林業機械を導入する際に、費用の一部を助成する「いわき市豊かな森づくり担い手確保育成支援事業」を令和 5 年度から実施することで、伐採・運搬費用の軽減を図ります。

## 令和 4 年度 市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

【案件名】 「いわき市産木材等の利用の促進に関する方針（案）」について

部課等名：農林水産部林務課

No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
4	<p>○ 山林育成には多くの補助金があります。植林下草刈り、枝打ち、間伐等には補助金が適用されますが、小規模山林では適用されません。福島県の会津地方では地元材使用にかなりの補助金が適用されます。リフォームも含め新築住宅での地元材使用にはいわき市でも補助金適用されるべきだと思います。</p>	<p>○ 貴重な御意見ありがとうございます。リフォームを含めた新築住宅に市産木材を使用した建主等に対して、市内の農林水産物や市内施設利用券等の商品と交換できるポイントを交付する「いわき市木づかい住宅ポイント事業」を実施することにより、住宅における市産木材の利用促進を図っています。</p> <p>なお、住宅に限らず、市産木材を使用して建築物を木造化・木質化した場合における建築費の支援については、今後、検討していきたいと考えています。</p>
5	<p>○ 福島県でも最大の森林面積があるいわき市ですが、その多くは針葉樹です。昭和30年代には多くの広葉樹があり、多くの動物がそのドングリを食べていました。その後石油によるエネルギー革命により日本での薪や炭の生産が著しく低下しました。反面、国の植林増産計画により杉やヒノキの植林が大幅に増加して、山の殆どが針葉樹になったところが多くなりました。広葉樹は落葉しますので、その土地は肥沃な土壌になります。昔は針葉樹を植林して伐採したら、その後は落葉広葉樹を植林してきました。しかし現在は針葉樹が圧倒的に植林され、木材生産優先であり生態系的な見地になっていないのが現状です。昔は「萌芽更新」（地上50～70cmで伐採すると、幹から新しい新しい芽が出る）を実施していたので、広葉樹の山林はとても美しく里山の風景でした。この広葉樹を床材や板にして室内利用する方向に向かう必要があると思います。</p>	<p>○ 貴重な御意見ありがとうございます。「いわき市森林・林業・木材産業振興プラン（第4期）」の個別施策「多様な森林整備の推進」に基づき、針葉樹伐採後の広葉樹への樹種転換、針広混交林の育成等、多様で健全な森林の誘導に向けた効率的な整備をしながら、「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」及び「いわき市産木材等の利用の促進に関する方針」の趣旨を踏まえ、針葉樹のみならず広葉樹の利活用も推進していきたいと考えています。</p>

## 令和4年度 市民意見の内容及び意見に対する市の考え方

【案件名】 「いわき市産木材等の利用の促進に関する方針（案）」について

部課等名：農林水産部林務課

No.	市民意見の内容	意見に対する市の考え方
6	○ 数値化はできませんが、学校の室内は木造にすべきと思います。情操教育的観点からの提案です。できれば椅子や机も木造が良い。	○ 貴重な御意見ありがとうございます。「いわき市豊かな森づくり・木づかい条例」及び「いわき市産木材等の利用の促進に関する方針」の趣旨を踏まえ、学校の木造化・木質化を推進していきたいと考えています。 なお、小・中学校の児童・生徒用の机については、福島県森林環境交付金を活用して、天板に県産材を使用した机を導入しているところです。
7	○ ハウスメーカーの展示場で見学すると、どれも見た目は美しい。このモデルハウスが30年経過したらどのようなのか想像します。無垢材を使用した室内が30年経過した状況を調査する必要があると思います。無垢材での室内の方が劣化は少ないと思います。	○ 貴重な御意見ありがとうございます。住宅展示場におけるハウスメーカーのモデルハウスは、一般的にハウスメーカーの販売促進のため、時代のニーズに合わせて常に更新されることから、仮設の建物として取り扱われ、その耐用年数は概ね7年程度とされています。このことから、ハウスメーカーのモデルハウスを使用した無垢材室内の経年劣化の検証は難しいと思われます。 ただし、市が無垢材を使用して集会所や消防詰所等の木造化を図った場合、経年劣化検証の一つの参考資料になるのではないかと考えます。
8	○ いわき市ではペレットストーブには補助金交付がありますが、薪ストーブにはありません。ペレット製造ではかなりのエネルギーを使用しますので、薪ストーブと比較するとエコな製品とは言えません。ペレットストーブは耐火装置があまり必要ではなく、それなりにコスト的には良いと思います。薪ストーブの耐火装置は平均200～250万の費用がかかります。薪代金はひとつのシーズンで20～30万になり、とても贅沢な品物です。しかし薪の多くが広葉樹ですので、いわき市の広葉樹山林が再生されます。現在山林整備で広葉樹を整備している人は殆どいません。山林活性化にも寄与すると考えられるので是非薪ストーブにも補助金をお願いいたします。	○ 貴重な御意見ありがとうございます。薪ストーブ導入に対する補助金につきましては、住環境等の多様化やカーボンニュートラル、SDGsの貢献を踏まえて、需要状況を見極めながら、今後、検討していきたいと考えています。